

火星の芝居

石川啄木

青空文庫

『何か面白い事はないか？』

『俺は昨夜火星に行つて来た』

『そうかえ』

『真個ほんとに行つて来たよ』

『面白いものでもあつたか？』

『芝居を見たんだ』

『そうか。日本なら「冥途めいどの飛脚」だが、火星じゃ「天上の飛脚」でも演やるんだろう？』

『そんなケチなもんじやない。第一劇場からして違うよ』

『一里四方もあるのか？』

『莫迦ばかな事を言え。先まず青空を十里四方位の大きおおきに截きつて、それを圧搾して石にするんだ。

石よりも堅くて青くて透徹すきとおるよ』

『それが何だい？』

『それを積み重ねて、高い、高い、無際限に高い壁を築き上げたもんだ、然しかも二列にだ、壁と壁との間が唯五間位しかないが、無際限に高いので、仰ぐと空が一本の銀の糸の様に

見える』

『五間の舞台で芝居がやれるのか?』

『マア聞き給え。その青い壁が何処まで続いているのか解らない。万里の長城を二重にして、青く塗った様なもんだね』

『何処で芝居を演るんだ?』

『芝居はまだだよ。その壁がつまり花道なんだ』

『もう沢山だ。止せよ』

『その花道を、俳優が先ず看客を引率して行くのだ。火星じゃ君、俳優が国王よりも権力があつて、芝居が初まると国民が一人残らず見物しなげやならん憲法があるのだからそれはそれは非常な大入だよ、そんな大仕掛な芝居だから、準備にばかりも十カ月かかるそうだ』

『お産をすると同じだね』

『その俳優というのが又素的だ。火星の人間は、一体僕等より足が小さくて胸が高くて、そして頭が無暗に大きいんだが、その中でも最も足が小さくて最も胸が高くて、最も頭の大きい奴が第一流の俳優になる。だから君、火星のアアビングや団十郎は、ニコライの会

堂の円天蓋まるてんじょうよりも大きい位な烏帽子えぼしを冠かぶつてるよ』

『驚いた』

『驚くだろう?』

『君の法螺ほらにさ』

『法螺ほらじゃない、真実ほんとの事だ。少くとも夢の中の事実だ。それで君、ニコライの会堂の屋根を冠かぶつた俳優やくしやが、何十億の看客を導いて花道から案内して行くんだ』

『花道から看客を案内するの?』

『そうだ。其処そこが地球と違つてるね』

『其処ばかりじゃない』

『どうせ違つてるさ。それでね、僕も看客の一人にんになつてその花道を行つたとし給え。そして、並んで歩いてる人から望遠鏡を借りて前の方を見たんだがね、二十里も前の方にニコライの屋根の尖端あたまが三つばかり見えたよ』

『アツハハハ』

『行つても、行つても、青い壁だ。行つても、行つても、青い壁だ。何処どこまで行つても青い壁だ。君、何処まで行つたつて矢張やっぱり青い壁だよ』

『舞台を見ないうちに夜が明けるだろう？』

『それどころじゃない、花道ばかりで何年とか費^かるそうだ』

『好^いい加減にして幕をあけ給え』

『だって君、何処まで行っても矢張^{やは}り青い壁なんだ』

『戯^{じょうだん}言^{ごん}じゃないぜ』

『戯言じゃないさ。そのうちに目が覚めたから夢も覚めて了^{しま}ったんだ。ハッハハ』

『酷^{ひど}い男だ、君は』

『だってそうじゃないか。そう何年も続けて夢を見ていた日にや、火星の芝居が初^はまらぬうちに、俺の方が腹を減^めらして目^め出度大団円になるじゃないか、俺だって青い壁の涯^{はて}まで見たかったんだが、そのうちに目が覚めたから夢も覚めたんだ』

青空文庫情報

底本：「石川啄木集（下）」新潮文庫、新潮社

1950（昭和25）年7月15日発行

1970（昭和45）年6月15日25刷改版

1991（平成3）年3月5日48刷

底本の親本：「啄木全集第2巻 歌集2」筑摩書房

1967（昭和42）年8月30日

初出：「明星」

1908（明治41）年7月

入力：青空文庫

校正：鈴木厚司

2004年8月11日作成

2016年4月26日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

火星の芝居

石川啄木

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>